

日本人の健康・長寿のルーツを探る ～これからの健康・長寿社会を展望する～

平成29年 **11月24日(金)～25日(土)**

会場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

11月24日(金)

9:45

◆基調講演
「いのちをつなぐDNAとゲノム」

11:15

◆ポスターセッション
若手研究者による研究発表

13:30

◆学術セッションⅠ
「人類規模の射程からみた日本の食・健康・環境」

15:45

◆学術セッションⅡ
「ゲノム多様性と健康・長寿」

◆「知」の集積と活用場・産学官連携セミナー
「国際水準GAPの推進について」

第
1
日

11月25日(土)

10:00

◆学術セッションⅢ
「『つながり』が支える日本の健康長寿」

◆高校生及び大学生の活動報告

12:15

◆ランチョンセミナー
「うま味とだしの魅力
～減塩をはじめ様々な健康価値の研究から～」

13:30

◆県民フォーラム
「日本人の食の未来」

◆健康・長寿将来構想会議
「『健康経営』と地域の社会・経済
～地域課題の解決にどう結びつけるか～」

第
2
日

主催：静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡県）

後援：静岡県教育委員会／一般社団法人 静岡県医師会／一般社団法人 静岡県歯科医師会／一般財団法人 静岡県老人クラブ連合会／公益社団法人 ふじのくに地域・大学コンソーシアム／公益財団法人 しずおか健康長寿財団／公益財団法人 静岡県産業振興財団／公益社団法人 静岡県栄養士会／公益社団法人 静岡県看護協会／公益社団法人 静岡県薬剤師会／公益社団法人 日本農芸化学会／公益社団法人 日本薬学会／静岡県健康づくり食生活推進協議会／静岡県製薬協会／静岡県中小企業団体中央会／社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会／大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所／地方独立行政法人 静岡県立病院機構／公益社団法人 日本栄養・食糧学会

第1日 11月24日(金)

◆開会挨拶 9:30~9:45

◆基調講演 9:45~11:00

テーマ「いのちをつなぐDNAとゲノム」

親と子をつなぐのはDNAという物質であり、伝わるDNA全体の情報をゲノムとよびます。ゲノム情報からわたしたち自身のルーツをさぐった結果を紹介します。

座長 小林公子（静岡県立大学 食品栄養科学部 教授）

講師 斎藤成也（国立遺伝学研究所 集団遺伝研究部門 教授）

◆ポスターセッション 11:15~13:00

若手研究者による研究発表

◆学術セッションⅠ 13:30~15:30

テーマ「人類規模の射程からみた日本の食・健康・環境」

日本の健康長寿をより広い視野から見つめ直すことを通じて、再発見することを目的とします。人間存在を自然環境との相互関係において捉え直すと同時に、時空間の射程を人類史規模にひろげ、その一部として日本の食や健康長寿を見直すを試みます。

座長 斎藤成也（国立遺伝学研究所 集団遺伝研究部門 教授）

座長 湖中真哉（静岡県立大学 国際関係学部 教授）

講演1 「和食は本当に健康によいのか」
講師/佐藤洋一郎（大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 理事）

講演2 「健康長寿社会に向けた健康増進（エコヘルス）アプローチ」
講師/門司和彦（長崎大学 熱帯医学グローバルヘルス研究科 副研究科長・教授）

講演3 「健康に影響する身近な環境要因－買い物物の利便性と腸内細菌叢を例に」
講師/梅崎昌裕（東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 人類生態学教室 准教授）

◆学術セッションⅡ 15:45~17:45

テーマ「ゲノム多様性と健康・長寿」

私たち一人ひとりが生まれながらに持つゲノムの多様性、またゲノムに後天的に生じたエピジェネティックな変化やテロメアの短縮が、私たちの健康や病気、老化といった現象にどのように関係しているのかを探ります。

座長 梶村春彦（浜松医科大学 医学部 腫瘍病理学講座 教授）

座長 小林公子（静岡県立大学 食品栄養科学部 教授）

講演1 「ゲノム多様性から見る病気」
講師/徳永勝士（東京大学大学院 医学系研究科 教授）

講演2 「テロメア・細胞ストレスと寿命・がん化」
講師/石川冬木（京都大学大学院 生命科学研究科 教授）

講演3 「生活習慣病の病態基盤－慢性炎症とエピゲノム－」
講師/菅波孝祥（名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野 教授）

◆交流会 18:30~20:00 参加料〔一般2,000円 学生500円〕

◆「知」の集積と活用場・産学官連携セミナー

（ウェルビーイング産業研究開発プラットフォームによる同時開催事業）

15:45~17:15

テーマ「国際水準GAPの推進について」

講師 栗原 眞
（農林水産省 生産局 農業環境対策課
GAP推進グループ長・農業環境情報分析官）

第2日 11月25日(土)

◆学術セッションⅢ 10:00~12:00

テーマ「『つながり』が支える日本の健康長寿」

人とのつながりという視点から健康概念を捉え直し、つながりを広げることにより、どのようにしてこれからの健康・長寿社会を築いていくのかを、公営団地に住む高齢者や在日ブラジル人の事例を通じて考えます。

座長 堂園俊彦（静岡大学大学院 人文社会科学領域 准教授）

講演1 「新しい健康概念とつながりの大切さ」
講師/松田 純（静岡大学大学院 人文社会科学研究科 特任教授）

講演2 「地域高齢者からみた人のつながりと健康」
講師/杉井たつ子（常葉大学 健康科学部 看護学科 准教授）

講演3 「異文化コミュニケーション能力が創造する新たな人とのつながり」
講師/濱井妙子（静岡県立大学 看護学部 講師）

◆ランチョンセミナー 12:15~13:15

協賛：花王株式会社

テーマ「うま味とだしの魅力 ～減塩をはじめ様々な健康価値の研究から～」

座長 新井映子（静岡県立大学 食品栄養科学部 教授）

講師 二宮くみ子（特定非営利活動法人 うま味インフォメーションセンター 理事）

◆県民フォーラム 13:30~16:30

テーマ「日本人の食の未来」

日本が世界でも有数の健康長寿国となった背景のひとつに、私たちの食生活があります。では、日本食はどのような歴史から生まれ、どこに向かっているのでしょうか。これからの日本人の食のあり方を一緒に考えてみませんか。

座長 合田敏尚（静岡県立大学 副学長・食品栄養科学部 教授）

座長 河合真吾（静岡大学 農学部 教授）

基調講演 「日本人は何を食べてきたか？
－1万年の歴史から読む未来－」
講師/鬼頭 宏（静岡県立大学 学長）

講演 「静岡で紡ぐ“食育の環”」
講師/米倉れい子（株式会社 食STORY 代表取締役）

講演 「うま味物質の栄養生理学的有用性」
講師/鳥居邦夫（株式会社鳥居食情報調節研究所 代表取締役）

◆閉会

◆高校生及び大学生の活動報告

10:00~12:00

健康・長寿に関する高校生及び大学生の研究活動の報告を行います。

座長 井島秀樹（静岡県教育委員会 高校教育課 指導第1班長）

座長 森本達也（静岡県立大学 薬学部 教授）

◆健康・長寿将来構想会議 13:30~15:30

（「ふじのくに」みらい共育センターとの共催事業）

テーマ「『健康経営』と地域の社会・経済 ～地域課題の解決にどう結びつけるか～」

座長 西野勝明（静岡県立大学 経営情報学部 特任教授・
「ふじのくに」みらい共育センター 副センター長）

座長 竹下誠二郎（静岡県立大学 経営情報学部長・教授）

講演1 「日本一健康文化都市ふくろい
～市民が『ともに進める』健康寿命の延伸～」
講師/原田英之（袋井市長）

講演2 「花王における『健康経営』の取り組み
～健康宣言を起点にPDCAサイクルで
ヘルスリテラシーの高い社員づくりへ～」
講師/児玉成志（花王株式会社 人材開発部門 健康開発推進部長）

講演3 「しずおか“まるごと”健康経営」
講師/土屋厚子（静岡県健康福祉部 理事（健康経営推進担当））

静岡健康・長寿学術フォーラムの歩み

年度	回数	テーマ
1995年	プレ大会	健やかな長寿を科学する
1996年	第1回	いかに病気と戦うか ―現在そして未来―
1997年	第2回	長寿社会に向けての疾病抑制 ―寝たきりの防止に向けて―
1998年	第3回	がんへの挑戦：進歩と希望
1999年	第4回	賢い食生活で健康長寿をめざす
2000年	第5回	老化機構研究の最前線と後期高齢者の健康問題
2001年	第6回	ゲノム創薬と21世紀の医療
2002年	第7回	健康長寿への自然科学、社会科学からのアプローチⅠ
2003年	第8回	健康長寿への自然科学、社会科学からのアプローチⅡ
2004年	第9回	現代ストレス社会における“心と体の健康”
2005年	第10回	健康長寿の科学・文化を考える“フォーラム10年の歩みと未来への提言”
2006年	第11回	自然からの恵み“薬食同源” ―21世紀COEプログラム(先導的健康長寿学術研究推進拠点)からの発信―
2007年	第12回	光を当てて、こころとからだの危険をさぐる ―21世紀COEプログラム(メディカルフォトンクス)からの発信―
2008年	第13回	元気な血管で健康な長寿を ―老いは血管に始まる
2009年	第14回	再生医療 ―未来への展望―
2010年	第15回	認知症克服で健やかな長寿を～創薬と医療
2011年	第16回	異分野の科学が融合して健康長寿社会を創造する
2012年	第17回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケア
2013年	第18回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケアⅡ ―健康長寿社会へのアプローチ―
2014年	第19回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケアⅢ ―健康長寿ふじのくに さらなる挑戦―
2015年	第20回	次世代につなぐ健康長寿 ―生涯を通じた健康を考える―
2016年	第21回	健康・長寿社会を支えるモノづくり・人づくり ―生命科学から見たモノづくりの可能性―

第22回 静岡健康・長寿学術フォーラム参加申込書

申込年月日 年 月 日

フリガナ			
名前			
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
職業 (○をつけてください)	<input type="checkbox"/> 研究者 <input type="checkbox"/> 大学院生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 専門職 (職種:) <input type="checkbox"/> 会社員 (業種:) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> その他 ()		

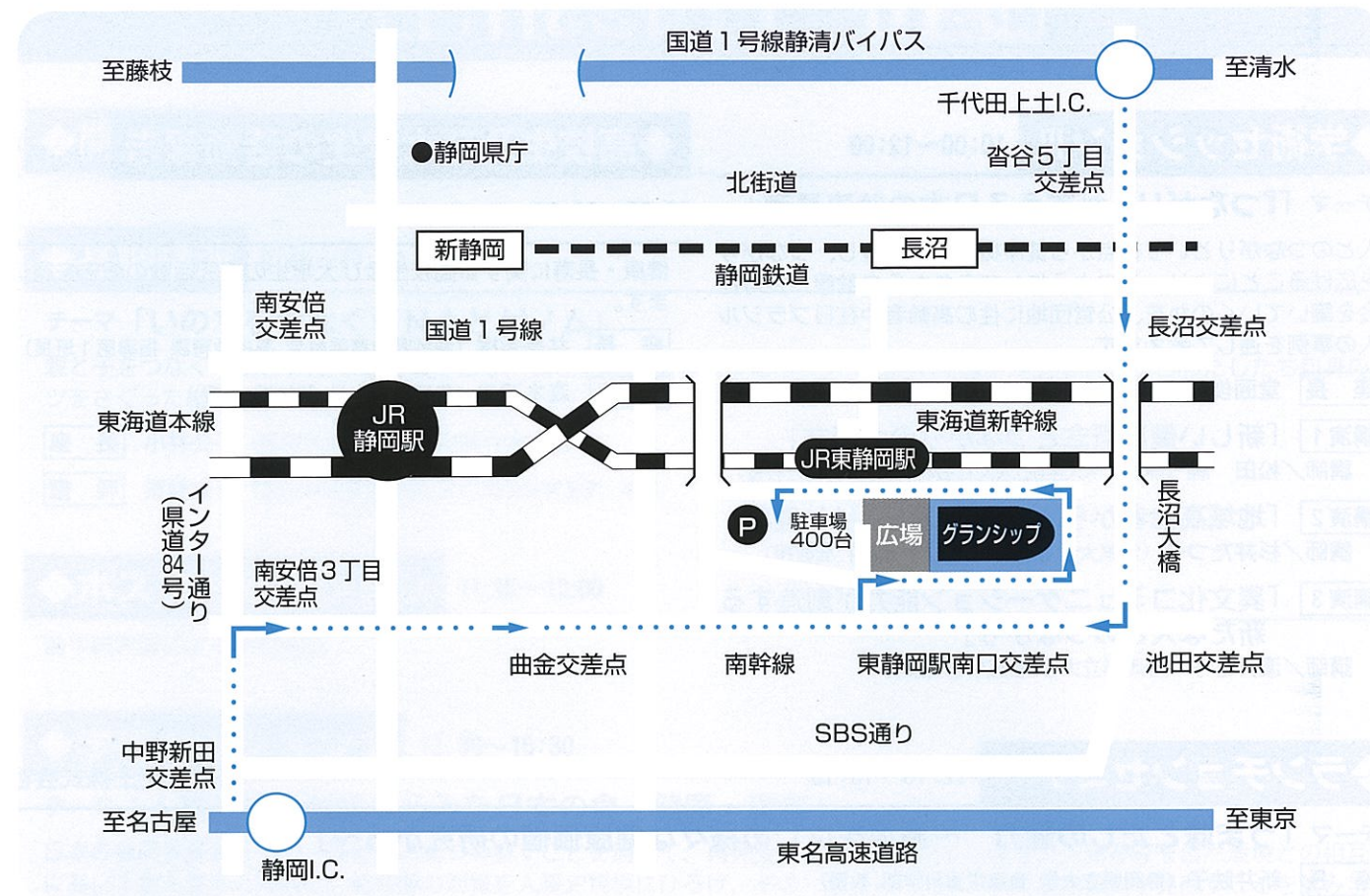
参加を希望するセッションに ○ を記入してください。

参加希望セッション	11/24 (金)	基調講演	(9:45~11:00)
		ポスターセッション	(11:15~13:00)
		学術セッションⅠ	(13:30~15:30)
		学術セッションⅡ	(15:45~17:45)
		「知」の集積と活用・産学官連携セミナー	(15:45~17:15)
		交流会 (参加料: 一般2,000円 学生500円)	(18:30~20:00)
	11/25 (土)	学術セッションⅢ	(10:00~12:00)
		高校生及び大学生の活動報告	(10:00~12:00)
		ランチョンセミナー (定員: 100名)	(12:15~13:15)
		県民フォーラム	(13:30~16:30)
	健康・長寿将来構想会議	(13:30~15:30)	
生涯教育制度の適用	<input type="checkbox"/> 日本医師会 <input type="checkbox"/> 日本薬剤師研修センター <small>※生涯教育の一環として単位認定を希望される方は、該当する団体にチェックを入れてください。</small>		

*ご記入いただきました個人情報は、本フォーラムにおいてのみ使用します。
*本フォーラムは、日本医師会生涯教育制度及び日本薬剤師研修センター研修認定制度の対象研修です。

送付先 FAX (054-264-5157) 又は郵送でお申し込みください。

静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局
〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 TEL: 054-264-5156 FAX: 054-264-5157



会場までのアクセス

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4
TEL: 054-203-5710 (代表) <http://www.granship.or.jp>

JRでお越しの場合

東海道新幹線 (ひかり) 東京から1時間 / 大阪から2時間、静岡駅下車
東海道本線 上り方面に乗換、東静岡駅まで約3分
東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩約3分

静鉄でお越しの場合

新静岡駅から6分 / 新清水駅から14分、長沼駅下車
JR東静岡駅コンコース通過、南口出口まで徒歩約7分
メインエントランスまで徒歩約3分

お車でお越しの場合

東名高速道路 静岡I.C.から6km、車で約20分
新東名高速道路 新静岡I.C.から9km、車で約15分
静清バイパス 千代田上土I.C.から4km、車で約10分
*グランシップ駐車場は有料です。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

参加申込方法 参加費: 無料

参加申込書に必要事項をご記入の上、11月17日までにFAXまたは郵送で【静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局】宛にお送りください。また、下記のホームページからお申し込みできます。なお定員になり次第申し込みを締め切らせていただきますが、当日、席に余裕がある場合はご参加いただけます。なお11月24日の交流会に参加希望の方は、会場入口にて参加費2,000円 (学生500円) を申し受けます。

お問合せ・お申込み

静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局
〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 TEL: 054-264-5156 FAX: 054-264-5157
Email: health_and_longevity@shizuoka-forum.jp HP <http://www.shizuoka-forum.jp>

ホームページからも申し込みができます。詳しくはホームページをご覧ください。 [静岡フォーラム](#) [検索](#)